

大阪城

2023
6/5 (月)
14360 号

全港湾
西成分会

2247
6647-
4947

梅雨にべり、台風2号が発生して「線状降水帯」が発生したという。土日大阪は快晴だった。が、和歌山、愛知、静岡など局地的大雨で被害が出ている。地球温暖化や海水面温度が高くなることなど、梅雨の間は「線状降水帯」が生まれ大雨になりやすい自然になったきているようだ。

6月は、一年の折り返しの時であり、自然も雨など変化し、社会でも人間に決断をうながす動きが強まるのかもわからない。

今、社会では人工知能(AI)の話がふよんでいる。対話型人工知能とか、生成AIとか、対話型とか生成とかいうコトバがAIの勢につくようになった。

時代を画する発明だといわれる。

「チャット(Chat)」「GPT」といわれ、「GPT-4」「GPT-5」

「GPT-6」とか日々進化発展する人工頭脳を作成する産業の流が生まれている。イーロン・マスクと

電気(F)「自動車をつくるという田力がいっつたが、宇宙飛行

ロケット、物理学、科学だけに特化した人工知能(AI)と

オレはつくるといっていた。社会や人間関係のない、あま

りした自然科学の分野だけに限ったAI、人工知能が

出来あがり、大学の博士ぐらゐの知能をもった存在

にはなりそうだった。電源さえあれば、24時間稼働せし

ず働きつづけるので、社会をホメスといくのだろう。

6月梅雨期 厳しい雇用環境つづきそうです。

気になる雨

2023年5月29日(月)に気象庁は九州北部・中国地方・四国地方・近畿地方・東海地方が「梅雨入りしたとみられる」と発表しました！平年に比べて九州北部地方では平年より6日早く、四国地方では平年より7日早く、中国・近畿・東海地方では平年より8日早い梅雨入りで、5月の梅雨入りは、東海・近畿地方では10年ぶりとなります。

梅雨入りは九州南部で6月上旬、そのほかのエリアでは6月中旬と、全国的に平年より4日～1週間程度遅くなる見込み。一方梅雨明けは平年並みとみられ、今年の梅雨は短くなると予想している。ウェザーニューズ、今年の梅雨は平年より遅く短め。6月下旬～7月上旬は大雨災害に警戒
梅雨明けは7月20日前後

揺れる世界経済

アメリカが破産する(デフォルト)かもと大騒ぎの債務上限問題。民主党・共和党の妥協が成立して当座、借金を上乗せして経済を回して危機の先延ばしすることで行くことになりました。

かたやウクライナの戦争。「反転攻勢」を豪語して何をするかと思っていました。反プーチンロシア軍になるものがウクライナ、ロシア国内に戦闘を仕掛けると言うことで、戦局ステーションが世界大戦に向け一段上がることになりました。